

## 89 山菜類の栽培技術の確立

福島県林業研究センター森林環境部・平成8～12年度林業試験場報告

- 1 部門名 林業－特用林産－栽培方法 分類コード 18－15－1000000
- 2 担当者 竹原太賀司・五十嵐文明・青野茂・古川成治
- 3 要旨

ワラビやゼンマイ等安定した需要が期待できる山菜類の育苗技術の検討を行い、胞子から出発したワラビ及びゼンマイ苗の育苗技術を確立した。併せて、調理の手間が省け、新たな需要の掘り起こしが期待できるアクの弱いワラビ系統の探索を行った。

### (1)ワラビ苗の育苗技術

ワラビの胞子を採取し、これをビニールポットに入れたジフィーポットに播きつけ、ビニールポットを水切り籠に入れて湿度を保ちながら25℃で管理する。幼苗が1cm程度になったらジフィーポットに1本ずつ植え替え、ハイポネックス(6-6-6)1000倍液を施与する。翌春、苗を畑に定植し、活着したら化成肥料を散布する。

### (2)ゼンマイ苗の育苗技術

ゼンマイ胞子の無菌培養によって作成した胞子体が1cm程度にまで成長したら(胞子の播種から約10カ月後)1本ずつ分離し、これをビニールポットに入れたジフィーポットに植え付け、市販のハイポネックス(5-10-5)1500倍液を施与し、ふた付きの水切り籠に入れて湿度を保ちながら25℃で管理する。翌春8～10cmまで成長したら苗を畑に定植、活着後化成肥料を散布する。

### (3)アクの弱いワラビ系統の検索

県内各地から収集したワラビ系統の食味試験の結果、対照系統(所内で採取)に比べ明らかにアクの弱い系統を3系統選抜した。

## 4 主な参考文献・資料

- (1)福島県林業試験場研究報告(1999)32, 49－60.